課題１－１

★ファイル名：kadai01\_1.php

1. VisualStudioCode（以下、VSCodeと記載）を開く。
2. VSCodeの[フォルダを開く]から、「C:\Sites\PHP1」を選択する。

※PHP１フォルダを作成していない場合は、新規作成しましょう。

1. VSCodeでPHP1フォルダ配下に、「kadai01\_1.php」ファイルを新規作成する。

※今後、課題は同じ手順で新規ファイルを作成してください。

1. 下記のコードを記述。例には<?php ?>は記載していませんが忘れないように。

※慣れるためにも、コピペではなく、自分で打ちましょう。

**■kadai01\_1.php　（第1段階・未完成）**

**$total; // 合計額の格納用の変数**

**$price = 1200; // 価格を格納した変数**

**$tax = ‘1.1’; // 消費税を格納した変数**

**// ※ただし、シングルコーテーションで囲んでいるので文字列**

**$total = $price \* $tax; // 価格×消費税を変数$totalに格納**

**echo $total; // 画面出力 echo**

1. ブラウザで、「http://localhost/」に接続し、Sitesの下のPHP1の下の課題ファイルを開く。
2. 変数「$tax」が、何型として認識されているのか、確認しましょう。

変数の型を調べるには「gettype($変数名)」関数を使っています。

実行結果では、変数「$tax」の初期化時に、「’1.1’」とシングルコーテーションで囲っているため、間違いなくstring（文字列）型として認識されています。

ただし、中身が「1.1」という数値であるため、計算時に自動的に数値として認識されることにより、計算が可能となっています。（半角のみ。全角数値は文字列として扱われますので、エラーとなります）

**■実行結果（kadai01\_1.php　完成形）**

**string**

**1320**

|  |  |
| --- | --- |
| 警告 単色塗りつぶし | ※便利ですが、これは混乱を招いたり、予期せぬバグの温床となったりするので、このような使い方は控えて下さい。（今回は、PHPの特徴確認のために敢えて記述しています）。数値は何も囲まずそのまま、文字列はシングルコーテーション、もしくはダブルコーテーションで囲みましょう。（「’」「”」の違いは３－２．型の章で記載します。） |

課題１－２

★ファイル名：kadai01\_2.php

文字列の挙動を確認するため、「課題１－２」を作成しましょう。

（テキストの「３－２－１．文字列型」にあるサンプルコードを打ち込んでみる）

**■kadai01\_2.php**

**$word = 'ECC太郎';**

**echo 'こんにちは。　{$word}　さん！';**

**echo '<br>'; //比較の分かり易さため、改行は分けて記述**

**echo "こんにちは。　{$word}　さん！";**

**echo '<br>';**

**$quote1 = 'シングルコーテーション\tで囲んだ文字列'; //　\tはタブ**

**$quote2 = "ダブルコーテーション\tで囲んだ文字列";**

**echo $quote1;**

**echo '<br>';**

**echo $quote2;**

**■実行結果（kadai01\_2.php　完成形）**

**こんにちは。　{$word}　さん！**

**こんにちは。　ECC太郎　さん！**

**シングルコーテーション\tで囲んだ文字列の表示**

**ダブルコーテーション で囲んだ文字列の表示**

課題１－３

★ファイル名：kadai01\_3.php

ゆるやかな比較と厳格な比較を確認するため、「課題１－３」を作成しましょう。

if文はJava同様ですので、前期の復習も兼ねて、コーディングしてみましょう。

**■kadai01\_3.php**

**$num = 1;**

**$word = '1';**

**// 変数の中身確認用表示**

**echo 'num = ',$num,'<br>';**

**echo 'word = ',$word,'<br><br>';**

**if($num == $word) {**

**echo '==で比較したとき、numとwordは等しいです。<br>';**

**}**

**else {**

**echo '==で比較したとき、numとwordは等しくありません。<br>';**

**}**

**if($num === $word) {**

**echo '===で比較したとき、numとwordは等しいです。<br>';**

**}**

**else {**

**echo '===で比較したとき、numとwordは等しくありません。<br>';**

**}**

**■実行結果（kadai01\_3.php）**

**num = 1**

**word = 1**

**==で比較したとき、numとwordは等しいです。**

**===で比較したとき、numとwordは等しくありません。**